



心に響く美しいロケーションを生み出し、独自の生態系を宿すやんばるの自然に囲まれた「カヌチャリゾート」。その恵まれた環境の中で、私たちはお客様をお迎えし、ここに残る最高の思い出をつくるお手伝いをしたいと考えています。それを実現するためには、現在と未来を一つに繋ぎ、地域と人を結んでいくような、大きな視野に立った環境への配慮が求められます。

“観光振興”と“環境保全”が調和し、幸せなかたちで循環していく「仕組み」をより強く推進していくために、私たち「カヌチャリゾート」は、さまざまな環境への取り組みをミクロとマクロの視点で築いていきます。

カヌチャリゾートからのご報告

カヌチャリゾートは、2009年12月3日、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を受けました。2008年10月に環境推進委員会を設置し、ISO14001の認証に向けた活動を開始、2009年7月より環境マネジメントシステムの運用を開始し、2009年12月に審査登録をして以降、現在、審査登録機関EQAにより認証を維持を継続しています。



カヌチャリゾートの環境方針

カヌチャリゾートは、自然と人間が共生する「心の楽園」をキーコンセプトとして、ゲスト・仲間・自然に優しい細やかなホスピタリティマインドを持っています。

私たちの事業活動を通して、あらゆるステークホルダーの満足感を追求して参りましたが、その一つである自然環境が危機的な状況に陥っていることを重く受け止め、私たちの誇りとスタッフ全員のチーム力を極大化し、魅力に満ち溢れた「心の楽園」を目指し、環境保全を促進します。

カヌチャリゾートの行動方針

継続的改善

環境に与える影響を的確に把握し、環境保全活動の継続的な改善と最適化を図ると共に、環境汚染の予防を確実に実施します。

環境目的・目標運用及び見なお

各部門ごとに環境目的を設定し、全部門、全従業員をあげて環境管理を強力に推進します。

環境影響項目の改善

リゾートの事業活動における環境影響項目のうち、特に以下の項目の改善に努めます。

- ①リゾートに納入する物品の選定
- ②電力・ガス・水道・燃料等のエネルギー使用量の削減
- ③リゾートから排出される廃棄物の分別と減量化

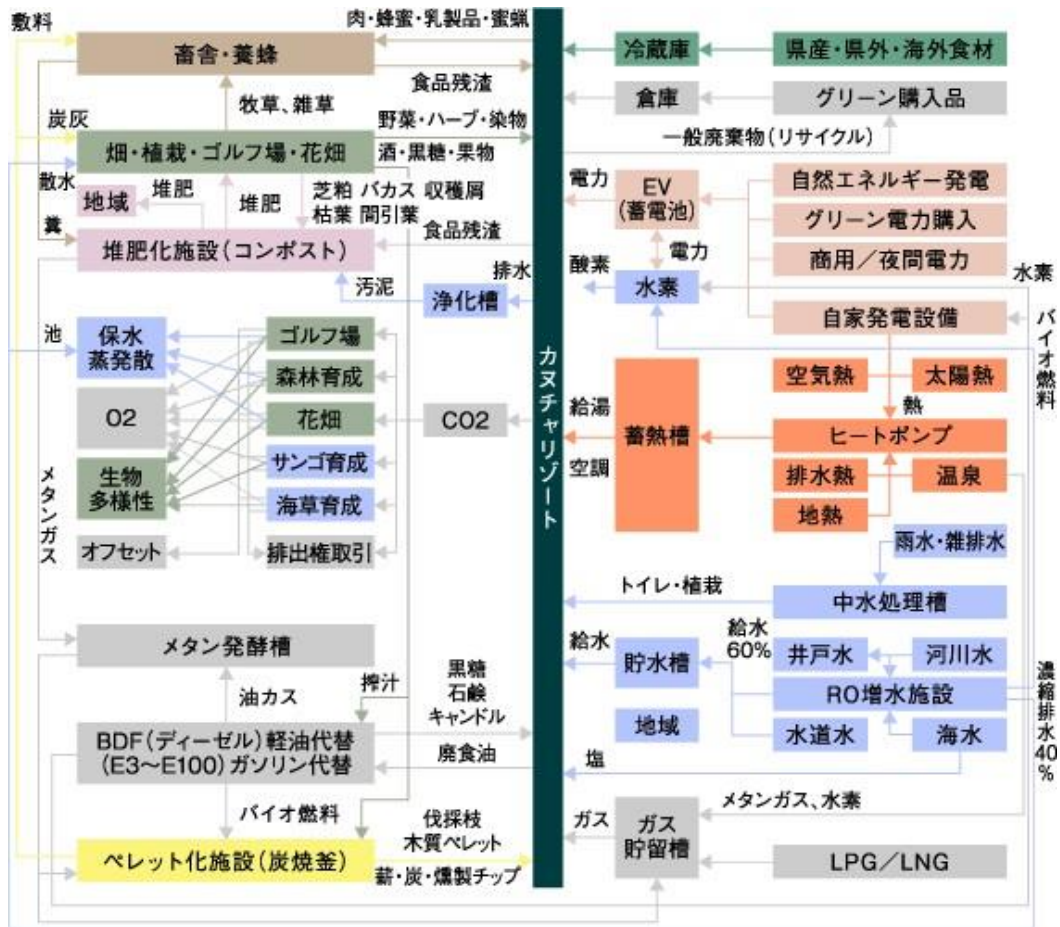
関連法規制などの遵守

環境保全に関する法規制等を確実に順守します。さらに可能な範囲で自主規制を設けて環境保全レベルの向上に努めます。

カヌチャリゾートが目指す 「循環型リゾート」とは



モノや食材、電気、熱、水、ガスなど、さまざまなエネルギーを消費するイメージが強いリゾートホテル。カヌチャリゾートでは、そのような従来型リゾートから脱却する努力を続けることが、沖縄という豊かな自然に育まれてきた私たちの使命だと考えています。例えば、生ゴミを堆肥に変えるシステムを確立すれば、最終的に出したゴミが「肥料」という資源に形を変えてホテルに返ってくる。半径数km以内で資材、食材、エネルギーを得て、半径数km以内でアウトプットされるものとして循環させる。カヌチャリゾートでは、「環境」と「観光」が一つの大きな輪の中で、スムーズに循環するモデルを構築し、地域と共に地産地消を推進する"サステナブル（持続可能な）リゾート"を目指しています。



これからの

「環境」 × 「観光」 の取り組み



カヌチャリゾートでは、これからも「環境」と「観光」の調和を求め、未来を見据えた環境への取り組みを推進していきます。そして、やんばるエリア、そして沖縄を訪れる皆様1人ひとりに素晴らしいひとときを提供したい。そのような思いを胸に、今後もさまざまな環境チャレンジを実施してまいります。

畜舎プロジェクト

肉の地産地消を目指すプロジェクト。生ゴミを熱処理して豚のえさにし、その豚をレストランで仕入れる循環モデルの構築が目標。



600人の畑プロジェクト

リゾートで出た生ゴミを堆肥にし、その堆肥で育った野菜をレストランで提供する、野菜の地産地消を目指します。カヌチャリゾートに関わる600人のスタッフなど、みんなで少しずつ手を加えてお客様に届けるプロジェクト。



はちプロジェクト

はちは環境のバロメーターとも言われている上、植物の受粉を手伝うため、やんばるの自然にも良い循環を生み出すことが可能。カヌチャリゾート敷地内の花から「はちみつ」を採取し、カヌチャオリジナル商品の製作を目指します。



ハーブプロジェクト

リゾート内にハーブ園を整備し、見た目にも美しささまざまな薬草を栽培。健康・美容などを視野に入れ、沖縄のハーブを商品化することを目的としています。



メガソーラープロジェクト

沖縄電力が県の「スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」を活用し、実証研究施設としてカヌチャリゾートの敷地内に作った巨大メガソーラー。新エネルギーを有効活用するための第一歩として注目されています。



カヌチャリゾートが発信する、 「環境」×「観光」へのチャレンジ



社長からのメッセージ



代表取締役
白石 武博

やんばる東海岸エリアの雄大な自然に包まれている「カヌチャリゾート」は、訪れるお客様1人ひとりに最適なライフスタイルをご提案し、心に残る思い出づくりをお手伝いする場所。その原点として、私たちがいちばん大切に考えているのが「地域」と「人」です。豊かな亜熱帯の自然とそこに集う人々が美しく調和し、各々がしあわせであることを目標として、カヌチャリゾートではこれまでもさまざまな環境活動に取り組んできました。

例えば「カーボンオフセット」は、お客様参加型のものとしては日本国内ではじめて実施いたしました。また、沖縄を観光するお客様自身にカーボンオフセット活動に参加する仕組みも確立。弊社のグループ企業であるニッポンレンタカー沖縄株式会社の電気自動車（日産リーフ）をレンタル利用することで、削減されたCO2を国内クレジット化し、カーボンオフセットに繋がる手法を日本で初めて構築しています。他にも、お客様の協力で実現するサンゴの植え付け「アイラブコーラルアイランドプロジェクト」の継続的な実施や「エコ・アクション・ポイント」への参加など、多彩な視点で「環境」と「観光」を一つの線上に結びつけて考え、アクションをおこしています。

また、2009年に沖縄本島のリゾートホテルではじめて「ISO14001」の認証も取得しており、リゾート内でのきめ細やかな環境対策も行なっています。今後はエネルギー自給率を上げることが求められる時代。その一貫として地産地消プロジェクトや畜舎プロジェクトなども念頭においてさまざまな環境チャレンジに取り組む予定です。

「カヌチャリゾート」の敷地面積は80万坪。まずはそこがスタートだと思っています。それと同時に、やんばる東海岸エリアなどの地域と協力して地域活性化・環境活動に取り組めば、その面積は800万坪にも8000万坪にもなる。そのように、ミクロとマクロの両方を意識しながら、より大きなスケールで「環境」と「観光」の在り方を捉えていきたいと考えています。

「環境」と「観光」を結びつける数多くのアイデアと有機的な循環の中で、沖縄を訪れるすべての皆様に満足し、心からくつろいでもらいたい。その思いこそが「カヌチャリゾート」が取り組む環境活動のスタート地点です。